

地域が支える子どもの笑顔

学校を地域に開くスクール・コーディネーター



平成16年度に始まった「スクール・コーディネーター制度」。現在、39名の区民の方が区立小・中学校で、地域の特色に合わせて、さまざまな活動をしています。

コンサートなど、各地区で子どもたちの活動を応援しています。子どもの笑顔を裏方で支える大切な存在です。

今回は、西戸山小学校・落合第二地区での、コーディネーターの活動を紹介します。

【問合せ】生涯学習振興課地域教育係(第1分庁舎4階) ☎(5273)3147へ。

地域がはぐくむ子どもの実り

☆西戸山小学校と地域をつないで草花隊を応援☆

西戸山小学校では、5年前から4年生が「総合的な学習」の時間に地域の土地を借りて野菜や花を育てています。名付けて「百人町草花隊」。

専門家の協力で環境プロジェクトとして始まった活動には、地域の方の声掛けやスクール・コーディネーターのかかわりで、多くの皆さんが力を貸してくださいさるようになりました。

たくさんの地域の声を学校に伝え、学校からの発信を地域に伝えることもコーディネーターの役割です。



大人は脇役、子どもが主役

☆落二地区ジョイントコンサートを側面からサポート☆

落合第二地区では、毎年10月の第3土曜日にジョイントコンサートを開催しています。今年で16回を数える恒例行事です。児童・生徒に多くの発表の場を設けるため、4校のPTAが協議会を毎回立ち上げて開催しています。落合第二中学校吹奏楽団・落合第五小学校金管バンド部・落合第三小学校吹奏楽団・落合第六小学校音楽クラブの4団体が出演しています。

中学生には後輩の小学生をはじめ多くの観客の前で演奏するすばらしい経験の場です。小学生には、中学生の迫力ある演奏に触れる貴重な機会です。



ジョイントコンサートの主役は児童・生徒、脇役は各校のPTAの皆さんです。スクール・コーディネーターは、16年度の発足以来、裏方として協力しています。子どもたちの健全育成にかかわった経験から、毎年変わるPTA担当者にコンサート実施の経緯や運営についての助言、事業実施のための区や地域との調整などの役割を担っています。

各校の4名のスクール・コーディネーターが、学校の特色に合わせて分担しながらジョイントコンサートを側面からサポートしています。

地域の声

子どもたちが、石やガラスの破片・タイルなどがいっぱい荒れた土地を耕し、石等を運び出していました。すべて手作業なを見て、協力したいと思いました。わたしが千葉の家庭菜園で使っているミニ耕うん機を使えばよいと思い、運んで来て子どもたちの作業に加わりました。

地域の声

畑の作業を通じて子どもたちとも顔見知りになり、うれしい楽しいです。子どもたちが、育った野菜をわたしに届けてくれました。その心がうれしいです。子どもたちの情緒も、豊かになったと思います。感謝の気持ちで草花隊の応援歌を作って学校に届けたところ、曲を付けて運動会で踊ってくれました。

先生の声

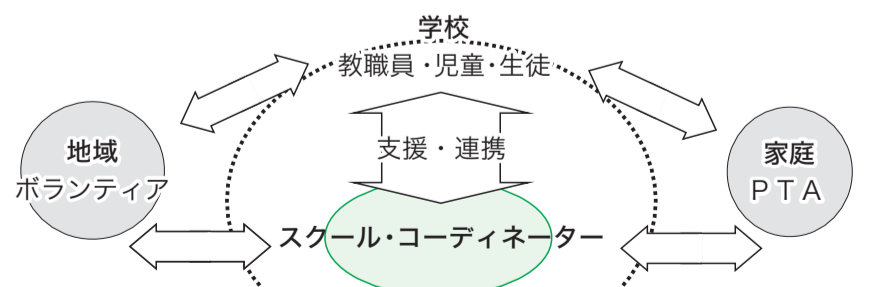
地域の方たちにアドバイスを頂いたり、声をかけて頂いたりしながら畑の作物の変化を楽しんでもらうことができました。たくさんの人の手や目や声に4年生の活動が支えられていることに感謝したいと思います。



4年生は草花隊の活動から、地域に出てたくさんの方と触れ合い、地域の一員である自覚を持ち始めています。また、土に親しみ「命を育てる」という意識もより強くなってきました。子どもたちの発想を大切にこの活動では、この秋から子どもたちが自主的な活動として何をするかが楽しみです。コーディネーターは、その活動のお手伝いをしていきます。

スクール・コーディネーターとは

青少年の育成指導に直接携わり、地域活動の実績がある方の中から、学校長または地域団体が推薦します。学校の同意を得て、教育委員会が各校1名委嘱する非常勤の公務員です。原則として職員室に席があり、週1回程度学校に出勤します。



学校と地域社会と家庭の連携を図り、児童・生徒の学習活動を支援します。

- ①教育課程の支援、②クラブ活動や学校行事への支援、③PTA活動、家庭教育学級・講座の支援、④地域スポーツ・文化活動等の地域活動への協力